



雌鹿塚と雄鹿塚

むかし、むかし、浮島沼の中央に大きな美しいひとつの島がありました。その島の草むらに、夫婦の鹿が住んでいました。この鹿の夫婦は、大そう仲よく、くらしていましたから、人々がそのようすを見てうらやむほどでした。

ところがある年のこと、大つなみがおそってきました。鹿は、つなみのあることなど夢にも思っていなかったのので、あわてふためいて、あっちこちにげまわりました。そして2頭の鹿は、とうとうはなればなれになってしまいました。

そのうち島は2つにわかれ、東側の島には雄鹿、西側の島には雌鹿と、わかれわかれになってしまいました。おたがいに、恐ろしさに悲しい声をあげてなきました。どうすることもできません。くる日も、くる日も、夕方になると、鹿はおたがいをしたってなきました。村の人達はかわいそうに思い、なんとかして助けてやろうと思いましたが、沼が深いのでよい考えもうかびません。そのうちに鹿は、悲しみのあまり死んでしまいました。



そんなことがあってから、まだいくらも日がたたないころ、多ぜいのお百姓さんが夜、沼に行きました。すると沼のどこからか、鹿のなき声が聞こえてきました。その声はいかにも、もの悲しく、さびしさにみちていました。

村の人達は、鹿をあわれに思って、鹿の霊をなくさめる塚を造ってやりました。それからは、鹿のなき声はピタリとやんだということです。

この塚を雄鹿塚（今の原）雌鹿塚（今の浮島2丁目）と呼んでいます。



横断歩道のわたりかた

宮の上保育園で、交通教室を開きました。

先生は、交通指導員のお姉さん。正しい横断歩道のわたりかたの勉強です。みんなは、正しいわたりかた知ってる？まず手を上げて、右みて左みて、そしてもう一度右を見てからわたるんだよね

2月12日、須津中学校新校舎のかべに、大きな校章が取り付けられました。

この校章は、3年生全員が4か月かかって作り上げた卒業記念です。カツラの木に、センダンの樹の葉をデザインしたものを3角形に組み合わせ、中心に「中」の字が入っています。センダンの葉はグリーン、中の字は金

あざやかな校章完成

色で、とてもあざやかです。

まもなく卒業。でもこの校章はいつまでも残ることでしょう。



はしか

これからがシーズン

子どもはだれでも1回はしかにかかります。みんなは、もうかかったかな。

はしかは、38度くらいの熱に、セキ、鼻汁、目やに、そして、赤いブツブツの出るのが特徴です。はしかは、人にうつる

力が強い病気です。だから、鼻汁やタンにまじっているビールスを吸いこむと、どんどんほかの子どもにうつります。人にうつる期間は、赤いブツブツの出る3日前から、出てしまつてから4日までです。

はしかは、これから初夏にかけてがシーズンです。予防注射を受けてありますか。まだかかっていない子どもは、早めに受けておきましょう。